

広報誌

キッズ ふくしま インたかだ

第12号

2021年6月1日

(発行)

キッズふくしまインたかだ実行委員会
(事務局)

〒943-0892

新潟県上越市寺町2-24-4

真宗大谷派高田教務所内

TEL:025-524-3913/FAX:025-524-2645

URL:<http://kids-fukushima-in-takada.jimdo.com/>



池の平青少幼年センターでの集合写真

※撮影のため一時的にマスクを外しています

実行委員長あいさつ

高田教区第一組 徳正寺 繁原 立

しげはら たかし

開催から十年をキッズふくしまも迎えることが出来ました。ひとえにご協力をいただいた皆様のおかげです。本当にありがとうございます。そして、大切な子供たちを送り出してくださる福島の方々も本当にありがとうございます。昨年からの新型コロナウイルスの影響により二度の開催が中止となりましたが、このスプリングキャンプが無事に開催できたことで本当に安心しました。

今回は八人の元気な子供たちが初参加をしてくださいました。最初は様子を見ていたようですが、センターに到着するころにはみんな仲良く遊んでいて、子供たちの対応力に驚かされました。サンドアート、葉書作り、アイス作りを真剣に取り組んでくれたし、何よりたくさん雪の中で遊んだり、歩いたり、穴を掘ってトンネルを作ったり楽しかったね。二班に分かれての劇は、大人より完成度の高いものを見せてもらいました。

震災の時も今と同じようにマスクが必需品とされ、部活や行事が次々と縮小され子供達にはたくさん迷惑を我々大人がかけてしまっています。「ごめんささい。」から始まったキッズふくしま。やはりこの原点を忘れずにまたこれからもキッズふくしまを開催し続けていきたいと思います。

夏もまた待つてるよ〜！

キッスふくしま スプリングキャンプ イン たかだ

2021年 3月 27日～3月 30日



1日目 (3月27日)

池の平センター到着 自己紹介
オリエンテーションなど



全国的な新型コロナウイルス感染症拡大により、参加していただける子どもたちとそれを支えるスタッフの安全を考慮し、やむなく開催を中止して一年。ようやくこの春に再開することができました。今回は参加者の人数を大幅に制限し、池の平青少年センターを会場にして三泊四日の日程で参加者を募ったところ、いわき市の小学生、二年生から五年生までの八名が手を挙げて下さいました。

三月とは言えまだまだ沢山の雪が残る池の平で、存分に楽しんでもらえるようにスタッフ総出で創意工夫を凝らしました。



元気に到着した8名の子どもたち。
自己紹介、日程説明の後は楽しく夕食を囲みました。



夕食の後のお楽しみ会。
体を動かしながらゲームを行いました。



ゲームの後は自分で布団を敷いておやすみの準備。

2日目 (3月28日)

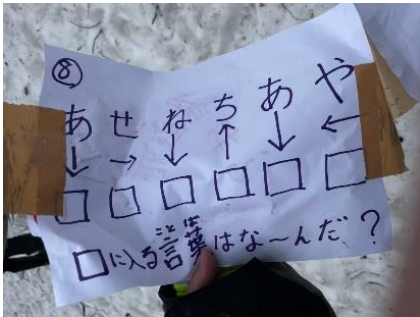
雪上レクリエーション



2日目は一日雪遊びです。
雪洞づくりや宝探しなど、
丸々一日雪の上で遊びました。



①



②



一緒に考えてみて下さいね!

※ 答えは右下に

ネットで公開しています

これまでの「キッズふくしまインたかだ」
の取り組み、今後の予定などを、たくさんの
写真と共に随時アップしています。ぜひア
クセスしてみてください。

なお、この広報誌はホームページにPD
Fデータでカラーアップされていますの
で、印刷してご利用ください。

ホームページ

<https://kids-fukushima-in-takada.jimdo.com/>

Facebook

<https://www.facebook.com/kidsfukushima/>

Twitter

<https://www.twitter.com/kidsfukushima/>



この②

91770411 ①

【写】

3日目 (3月29日)

レクリエーションなど

紙を使った作品作り。
折り紙やはがき作りなどを行いました。



3日目は室内を中心とした活動を行いました。午前中は折り紙やはがき作りなどの工作、午後からはサンドアートの制作にも挑戦しました。どの活動もみんな真剣に取り組み、思い思いの作品を完成させて福島へのおみやげにすることができました。



サンドアートの制作に挑戦しました。
様々な色の砂を瓶に入れて、個性的な芸術作品を完成させました。



アイスクリーム作り体験です。
雪の中に材料を入れて、ひたすら転がして出来上がり。
暖房の効いたお部屋で食べるアイスクリームは最高です。



夜は2班に分かれて劇の披露。これまでの練習の成果と絆の強さを見せてくれました。

4日目 (3月30日)

最終日 帰路につく

4日目最終日は朝の勤行からスタートしました。池の平センターの日程では、毎朝お勤めをしています。御本尊に手を合わせるだけでなく、最終日はみんなで声を合わせてお勤めをしようということになり、全員で正信偈を読みました。初めての経験で皆さん戸惑いもありましたが、良い経験になったのではないのでしょうか。

朝食を済ませ、身支度を整えてふるさと福島に向けて出発しました。親元を離れ、遠い新潟で過ごした4日間が、八人の子どもたちにとって大きな財産となってくれたのであれば幸いです。



正信偈を声に出して読んでみましたが、途中でどこを読んでいるのか分からなくなりました。



最後の食事はサービスエリアで

こども達の感想



Thank You ☆

小学二年生

佐藤 汐さん

私がキャンプに参加した理由は、夏のキャンプに参加した姉が「楽しかった」と言っていたし、新潟のお米は美味しいと

聞いていたからです。

出発の日が近づくと、楽しみと不安な気持ちでソワソワしましたが、集合場所でお友達と一緒にになると楽しくて、すぐにバスに乗りました。

キャンプでは雪を集めてトンネルを作ったり、アイスを作ったりしました。みんな力を合わせて作ったアイスはとてもおいしくて、疲れたけれどがんばって良かったと思います。おうちへのおみやげに作ったサンドアートも、色々な砂でキレイに作られて楽しかったです。お友達とケンカしたり、朝早く起きてひとりだったときは寂しくて、お父さんとお母さんに会いたくなかったけれど・・・。スタッフの皆さんは優しく、たくさん遊べて楽しかったのでもた参加したかったと思います。

(代筆 母)



楽しい食事の様子
(2日目夕食)

小学五年生

大和田 遼さん

ぼくは、この池の平センターに行って楽しかったことがあります。それは、雪で遊んだことです。いわきでは、冬でも雪はめつたに降らないので、とても楽しい経験ができました。

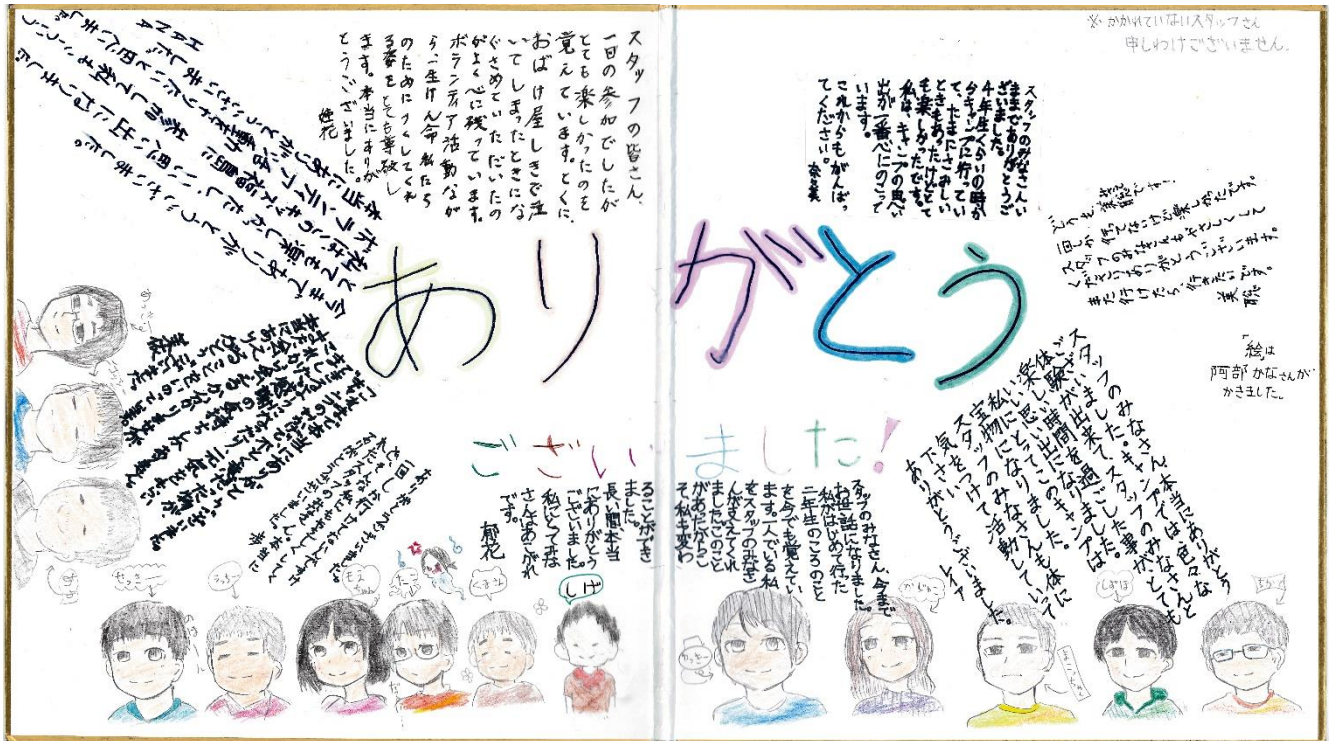
スタッフのみんながいろいろなことを計画して楽しく過ごせるようにしてくれているのでうれしいです。夜のおたのしみ会や、ご飯の時はとても楽しみです。温泉は広くて家のお風呂とは違って、とてもおんびりできました。行く前はコロナのことや家族とはなれるのが少し不安だったけれど、こうやって楽しい思い出ができたのでよかったです。新潟のみなさん、ありがとうございました。

2019年夏のキャンプの後、今回まで開催できなかったキッズふくしまですが、今回様々な感染防止対策を講じて1年半ぶりに開催できたのは、たくさんの方々の皆様の感謝の言葉に力強く後押しされたお陰でもあります。2019年夏に参加して下さったいわき市の子ども達から、心のもった寄せ書きをいただいています。

この子どもたちは、昨年小学校を卒業して現在は中学生となっております。昨年のスプリングキャンプが開催できないということが子どもたちにも伝わり、参加できないのであれば感謝の気持ちをスタンプに伝えたいということで、この寄せ書きを書いて下さったとのことです。

温かいこの一枚の色紙に込められた気持ちに、これからも精一杯応えていきたいと思えます。

感謝の寄せ書き



キッズふくしまにお力添えいただきありがとうございます

「キッズふくしま」とは福島第一原発事故を機に始まった、福島県の子どものための保養活動です。現地の声には、「個人宅の放射能除染が行き渡っていない」、「遊び場である公園に連れて行ったり、遊ばせたりする事が不安」などという声が聞かれます。また子どもたちからも「普段遊んでいた空き地は数値高いから遊べない」、「山に入っちゃいけないって言われた」等、大人は不安からのストレスに、子どもたちは遊び場を失うストレスに悩まされる日々が今だに続いています。

「キッズふくしま」は、大人たちが便利という言葉にごまかされて思考を止め、本当の安全を追及して来なかった事や、原発事故、放射能汚染等の負のバトンを子どもたちに渡さなければならない事に対する「ごめんなさいから始める」活動です。子供たちが感じているストレスの軽減と、受けている内部被ばくの減少を目的として、たとえ数日間という短い期間でも汚染されていない地域で過ごし、思い切り遊んでもらいたいと思っています。ご理解の程宜しくお願い致します。

皆様からのご寄附をお願いします

- 郵便局からの振込 -

口座記号番号 (ゆうちょ銀行)
00500-1-101787
口座名 キッズふくしま たかだ

- 他金融機関からの振込 -

店番 059 (ゆうちょ銀行)
口座名 キッズふくしま たかだ
預金種目 当座
口座番号 0101787



保護者のこえ

いわき市 鈴木悦子様

東日本大震災、福島第一原発事故、あの日から十年が経ちました。今回初めて参加した息子は当時四か月、姉が七歳と五歳。十歳になった息子は元気に育っています。

子どもたちの成長は早いものです。あれから十年、ニュースや報道を見ていても、原発の状況は良くなっているのでしょうか？見えていない、見せているところばかりがきれいに整備されていて本場の事は見えてこない様な気がしていて、原発や放射能というキーワードには不安しかありません。

この十年間、放射能汚染による子供たちへの影響をできるだけ少なくするように自分なりに勉強し情

報を集めながら生活してきました。

低汚染地域で過ごすことが良いと知り、長期、短期と時間があるときには保養へ出ていました。それが昨年からはコロナの影響により遠方へ保養することができなくなりました。

外出自粛と言われ、子どもたちと家に引きこもっていると、震災当時と同じで放射能が怖くて外へ出ることができなく家の中で過ごしたことと同じ状況だったかと考えてしまいました。

そんなコロナ禍の中、震災も十年過ぎた時に今回のキッズふくしまスプリングキャンプに参加できたことにうれしく思います。また福島の子どもたちを思ってくれている人たちがいると思うととても励みになります。

キャンプから帰宅した息子はたくさん話してくれました。「夜も眠れないくらいに楽しかった!!」と聞いて、私の心配は無駄だったんだと気がつき、息子の成長を感じました。

色々な方の名前が出てきて、「一

会計報告

この活動に対し様々な方に御支援を頂きましたことを、ここにご報告させていただきます。

- ・串一様 (妙高市) ※順不同
- ・げんこつ亭様 (糸魚川市)
- ・全日本仏教会様
- ・すずなの会様
- ・キッズふくしまOB、OG様 (過去に参加して下さった方々)
- ・高田教区内ご寺院様 (専敬寺様、稱名寺様他)

通帳残高 1,522,649 円
(2021年4月27日現在)

この募金はキッズふくしま実行委員会が管理をして、必要があれば実行委員会の決済を経て、キッズふくしま関連事業への補助を行います。今後も高田、新井両別院報恩講や各種行事において募金活動を行う予定です。引き続きご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

緒に勉強した、一緒に遊んだ、なぞなぞしてくれた」などたくさんの方々の皆さんに囲まれて四日間を過ごした様子が分かりました。ごはんもおいしくて、「家で食べられないサラダやトマトも食べれた!!」とうれしそうに話してくれました。

コロナで一年以上保養に出られなかつたので、少しの間でも汚染の無いところへ行けて、少し安心しています。こんな状況の中でも子どもたちを受け入れてくれてあ

りがとうございました。息子にとって雪で遊んだことは貴重な経験だと思います。春休みに良い経験をさせて頂きました。

そして支援して頂いた皆様、スタッフの皆様、ありがとうございました。



子どもたちの保護者にききました。 アンケートの一部を紹介します。



Q お住まいの地域の状況はいかがですか。また「キッズふくしま」の様な保養事業が開催されることについて、どのような考えをお持ちですか。

A 放射能地域に住んでいる以上は、保養へ出してあげたいと思っています。一年以上保養に出れていなかったため、今回少しの間でも安全な地域へ行って少しホッとしています。

A 私個人としては、震災時の放射線の影響は特に感じていません。外でも遊ばせませすし、海でも遊ばせませす。現在はコロナに対する危機感が強いです。人の多い場所、室内施設を避けるのでなかなか自由に思い切り遊ばせることはできていないと感じています。

A 放射線の保養が必要と考えている方は身近にいない。むしろニュースなどで「いわきには帰れません」と訴えている方を見聞きすると、外の人たちにはまだまだ危ないところと認識されているのかと思うとゾッとします。だが、今でも東電や国の体質はあまり変わらないので、今は「大丈夫」と言っているも実は「大丈夫ではなかった」ということもあるかもしれない。そんな時の為に少しでもリスクは分散させておきたいというのが本心である。

A 震災から十年が経ち、復興しました。ですが、本当に復興しているのでしょうか。もう原発事故の話をする人も少なくなり、保養を開催してくださる所も減る中で、子どもたちだけでも受け入れて下さり本当にありがたい。

Q 今後の「キッズふくしま」の活動に、ご意見・ご要望がありましたら、お書きください。

A 「新潟にみんなの事を大事に思っている人がいる」という文面に勇気を貰えた。心から感謝申し上げます。この活動が一回でも多く開催できることを願います。

A コロナ禍の中で感染対策をしながら本当に大変だったと思います。その中でもいろいろな企画を考えて頂き、本当にありがとうございます。夏の参加も楽しみにしていますのでよろしく願います。

A 普段の生活ではなかなか体験させることが難しい、自宅を離れての生活は、子どもたちにとっても親にとっても成長の良い機会になります。こういった活動の場を提供していただけることは大変ありがたいです。

スタッフ募集!

※ お問い合わせは事務局まで

実行委員会では随時スタッフを募集しています。

～池の平会場において～

- ① 全日程通じての参加
- ② 短時間での参加
- ③ 食事の準備、片付け
- ④ 子どもたちと遊びたい人
- ⑤ 現地への送迎

お願いします!

